

仕事が楽しい人 F i l e . 2 : 佐藤茜さん (ダンスインストラクター)

◆佐藤茜さんのダンスの出会いから今まで

茜さんがダンスに出会ったのは、小学校4年生の頃。

バレエ教室に通い始めたのがきっかけでした。バレエを習うとすぐに面白いと思い、のめり込みました。なぜはまったのかというと、バレエを習得するためのノウハウが、明確に示されていると感じたからなのだそうです。小学校4年生であれば、バレエを継続した理由を楽しさに求めるのが普通かと思いますが、茜さんは、ノウハウが明確だから面白いと感じたのです。ピアノをマスターするための教書としてバイエルがあるように、バレエにも、積み上げるべき基本が体系立てて整理されています。これを茜さんはノウハウと称して認識して、面白いと感じたのです。

茜さんは、中学受験のために、好きだったバレエを一度中断しました。中学入学後にバレエ教室に戻ろうとしましたが、同年齢の仲間とのレベル差が歴然で、戻れませんでした。ただし、踊りを何らかの形で続けたいとの思いが強かったため、中高ではダンス部に入部して、バレエとは異なりますが、ダンスを継続したのです。

大学に進学した20歳頃には、ジャズダンスも始めました。ダンスへの取り組みも本格化を増し、各所のオーディションも受けました。浦安にあるテーマパークにも応募したそうです。しかし、現実には厳しく、153cmの身長もネックとなり、オーディションに合格することはできませんでした。茜さんは、大学卒業後の進路をどうすべきか悩みました。好きなダンスで収入を得られるのが理想だけど、実現の道は限られています。ダンサーとして収入を得るのは難しいかもしれないけど、これまで培ったダンスの基礎を活かして、これからダンスを始める人たちにダンスを教える仕事ならできるのではとの結論にいきつきました。最終的に、創作ダンスのダンサーとしての活躍の場を保持しながら、ダンスインストラクターとして収入を得る進路を選択したのです。

茜さんは、2001年に大学を卒業した後から現在まで、当時に選択した進路を貫き、歩を進めています。ただし、ダンスに関連した仕事だけでは、生活費は捻出できないのだそうです。茜さんは、ダンスインストラクターとしての職を得た現在でも、空き時間を利用してパートタイマーとして、事務関連の仕事をしています。ダンスは、自分のやりたいことだし、ダンスを通じて、多くの人たちに元気になってもらいたいとの思いで、収入的には厳しい状態にも関わらず、ダンスを続けていますし、これからも続けていくそうです。

◆佐藤茜さんが大切にしているキーワード

“基礎が大切”

茜さんからお話を伺う中で、何回も、“基礎が大切”という言葉が出てきました。ダンスをマスターするには、という限定的な意味ではなく、あらゆる事は、“基礎に始まり基礎に終わる”という真理の主張です。

“自己との対峙”

ダンスの練習では鏡に自分の姿を映し、姿勢、動き、表情等々を自己チェックします。できていると自信のあるダンスをしていますが、鏡に映し出される自分の姿は、自分の求めているモノとはかけ離れている場合が、大半なのだそうです。通常、我々は、自分を客観視する機会がほとんどないため、「できているのに何で」という思い込みに捕らわれがちです。茜さんは、ダンスを通じて（鏡に映し出される自分の姿を直視することで）自己と対峙し、思い込みから抜け出すきっかけを得ているのです。

◆佐藤茜さんからのメッセージ (<http://www.chakofami.com/cat54/> より抜粋)

“やれば出来ることを知ってほしい”

幾つになっても、体を動かす楽しさや、一生懸命やれば、何かをつかむことが出来る。ということを知ってほしいです。レッスンを続けていくうちに、身体が少しずつ成長していくことを実感してもらいたいです。

◆佐藤茜さんのパワースポット

七福神巡り

◆平堀が感じ取った佐藤茜さんの凄さ

私が茜さんと出会ったのは、2002年でした。

以前私が勤めていた職場に、パート社員として、茜さんは入社してこられました。それから、4年半ほど、職場を一緒にしたのですが遮二無二仕事に打ち込む茜さんの姿が、強烈に印象に残っています。

今回インタビューをさせていただき、茜さんの本気さの根源が理解できた気がします。茜さんは、ダンスインストラクターとして、自己と対峙する大切さや、やれば出来るという自信を、多くの生徒達に持ってほしい。創作ダンスを観てもらおうことで、開放感を味わってもらいたい。との純粋な想いを胸に抱き、仕事に打ち込んでいます。不足する収入を補うために、ダンス以外の仕事もしています。

私がこれまで目にしてきたのは、ダンス以外の仕事をしている茜さんの姿です。それは、

俗に言われる副業です。本業は本気でやるモノ。副業は収入を得るために行うモノというイメージがありますが、茜さんは、本業も副業も、どちらも本気で取り組んでいます。本気の方は、本業や副業とか、公私の区分けに関係なく、あらゆることに本気で取り組むものなのだと、茜さんから教えてもらいました。

老子の次の言葉を紹介して、茜さんの凄さをまとめさせていただきます。

「生きることの達人は、仕事と遊び、労働と余暇、心と身体、教育と娯楽、愛と宗教の区別をつけない。何をやるにしろ、その道で卓越していることを目指す。仕事か遊びかは周りが決めてくれる。当人にとっては、つねに仕事であり遊びでもあるのだ。」

◆佐藤茜さんのプロフィール

職業：ダンサー、ダンスインストラクター

所属：Chako Family Dance Studio

URL：<http://www.chakofami.com>

◆ダンスインストラクターってどんな仕事？

ダンスインストラクターとはいろいろなダンスの基本などを教え、その楽しさや技術を生徒たちに伝えるのが仕事です。ダンスにはクラシックバレエ、モダンバレエ、ジャズダンス、社交ダンス、ヒップホップなどがあります。いずれもダンススタジオやダンススクール、またはフィットネスクラブなどで大勢の生徒たちを前に教えることが多いです。ダンスインストラクターはその多くが現役ダンサーでもあり、兼業で教えている人がほとんどです。そのためダンサーとしての自身の経験や修練を積み重ねないとインストラクターになることは出来ません。また人に教える能力も必要です。

(<http://www.v-fish.net/work/dance-inst.html>より抜粋)

◆ダンスインストラクターに求められる能力

- ・ダンス技能
- ・分析力、課題抽出力、観察力（受講生の能力向上課題の分析）
- ・コミュニケーション能力
- ・創作能力（インストラクティングの方法）